

令和4年度の重点課題

- 新体カテストの総合評価のAB率 27.8%、DE率50.0%である((AB-ED)率 -22.2%)
- 男子は「上体起こし」「20mシャトルラン」が、女子は「握力」「上体起こし」「50m走」が、県平均かつ全国平均値より低い。
- 男女ともに「反復横跳び(俊敏性)」「立ち幅跳び(跳躍力)」といった下半身の筋力に課題がある。
- 1日の活動時間が1時間未満の児童の割合が38.8%だった。
- 「進んで外遊びしたり、体を動かしていますか。」というアンケートに対して、否定的回答をした児童の割合は15.1%だった。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

- 体育の授業での準備体操の中に、「言うこといっしょ、やることいっしょ」「体じゃんけん」「新聞ボールDEゴルフ」等のACP(アクティブチャイルドプログラム)を取り入れ実施した。
- 月に2回、体育委員会主催のロング昼休憩時に、縦割り班別で長縄跳びによる「八の字チャレンジ」を実施した。
- 月に1回、のびのび(全校)朝会でACP(アクティブチャイルドプログラム)を全校で取組んだ。
- 休日の宿題に、週末プラス1という運動の宿題に取り組むよう周知した。

令和5年度新体カテストの結果 県平均値(令和4年度)・全国平均値(令和3年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	15.20	15.00	32.40	37.00	57.20	9.08	145.40	24.40	52.20	第5学年	14.75	17.25	34.00	34.50	38.63	9.73	128.13	15.50	51.13

県平均値かつ全国平均値未満

令和5年度新体カテストの結果 県平均値(令和5年度)・全国平均値(令和4年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	15.20	15.00	32.40	37.00	57.20	9.08	145.40	24.40	52.20	第5学年	14.75	17.25	34.00	34.50	38.63	9.73	128.13	15.50	51.13

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	60.00	20.00	20.00	0.00	第5学年	37.50	50.00	12.50	0.00

学校独自の意識調査

当	県	全	国	
は	平	平	平	
ま	均	均	均	
ら	値	値	値	
な				
い				
な				
い				
14	82	9	3.4	5.6
15	74.2	13.5	11.2	1.1

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法
体育の授業で行う取組内容

- 年間を通して準備体操(10~15分)の中に、ACP(アクティブチャイルドプログラム)を取り入れる。
 - ・言うこといっしょ、やることいっしょ
 - ・体じゃんけん
 - ・どかーんじゃんけん
 - ・ねことねずみ 等

体育の授業以外で行う取組内容

- ・のびのび(全校)朝会でACP(アクティブチャイルドプログラム)を全校で取組んだり、学級遊びのできる遊びを紹介したりする機会を設ける。
- ・秋季冬季におけるのびのび(全校)朝会で、5分間程度のランニングに取り組む
- ・月に2回、体育委員会主催のロング昼休憩に長縄跳びの「八の字チャレンジ」を全校で実施する。
- ・休日の宿題に、週末プラス1という運動の宿題に取り組む。
- ・陸上指導講師を招聘する。

重点課題

- ・「体を動かすこと(運動)が好きですか。」というアンケートに対して、「あまり当てはまらない」「当てはまらない」と回答した児童の割合は、全体9%だった。(前年比1.4↑)
- ・「進んで外遊びをしたり、体を動かしたりしていますか。」というアンケートに対して、「あまり当てはまらない」「当てはまらない」と回答した児童の割合は、全体12.3%だった。(前年比2.8↓)
- 男子(5年生)
 - ・「握力」「上体起こし」「長座体前屈」「反復横跳び」「立ち幅とび」において、県平均値(令和5年度)・全国平均値(令和4年度)より低い。
- 女子(5年生)
 - ・「握力」「上体起こし」「長座体前屈」「反復横跳び」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅とび」において、県平均値(令和5年度)・全国平均値(令和4年度)より低い。

令和6年度の重点目標値

- 「体を動かすこと(運動)が好きですか。」というアンケートに対して、「あまり当てはまらない」「当てはまらない」と回答する児童の割合を、全体の約7%以下にする。
- 「進んで外遊びをしたり、体を動かしたりしていますか。」というアンケートに対して、「あまり当てはまらない」「当てはまらない」と回答する児童の割合を、全体の約10%以下にする。
- 「立ち幅跳び」「反復横跳び」を県平均以上にする。